

はばただけ

広島サンダーズ

久原 大輝

チャンピオンシップ前日の最後の練習。全体練習が終了し、唐川大志選手は高木啓士郎選手や金子聖輝選手らとともに、最後まで居残りで試合のための準備を入念にしていた。

入団当初から、抜群の身体能力と反射神経でスタメンを勝ち取



笑顔の唐川選手㊤
(2024年10月19日)



練習の虫 唐川選手

り、捨て身のディフェンスと不屈の精神力で幾多の場面を救ってくれた。長年、井上航さんとサンダーズの守護神として、コートを守り続けてきた秘訣は、チーム一の練習量だろう。

ここ数年の全体練習後、最後の最後まで自らと向き合って、技術を高める姿が目には焼き付いている。試合に勝とうが負けようが、疲れていようがいまいが、とにかく誰よりもボールを多く触っていたのが唐川選手だ。

その影響力は、先輩、後輩関係なく大きいもので、ほとんどの選手が彼に助けられたと言っても過言ではない。「練習が足りないな」。唐川選手にそう思われたいよう、われわれも精進していかなければいけない。

奥さまと息子2人は地元の福岡に住んでおり、この1年は単身赴任生活を送っていた。これからは家族と過ごす時間が少しは増えると思うので、幸せな第二の人生を歩んでほしい。

(広島DMマネジャー)